

バプテスマを
決心する
チャンスと
与えるための
講演会です!

全日本18マラナ・タは 収穫の講演会



自宅で講演会を開催することも可能です!

家庭集会の場合の例
必要な機材: ノートパソコン、30インチ程度のフラットパネルのテレビ、パソコンとテレビをつなげるケーブル(教区でサポート体制を構築する予定)
1人で受付、司会、講演を全部することもできます。

通常、集会后、親睦を深めるため、参加者に教会に残っていただいて茶話会をする場合が多いと思います。しかし、連続講演会の場合は、毎回は必要ありません。お互い負担になるからです。

伝道講演会の原稿とスライドは、英文のものが届き次第、日本語に翻訳して希望する教会にお送りします。

実施日

2018年5月3日(木)~20日(日)の期間内
任意の10日間

講演者

牧師、信徒

開催場所

教会、集会所、聖書研究会
自宅など

毎日の講演会の時間

1時間程度

講演会の時間帯

自由

プログラム

自由(例を参考に)

講演内容

スライドを見せながら、メッセージを語る
教団で準備するものを使用可能
自分流にアレンジも可

当日最低限必要な役割

受付、司会者、講演者
ピアニスト(賛美歌自動演奏機代用可能)

そのほか1年間の役割

名簿整理責任者、チラシ作成、発送、配布、訪問、地域とのつながりをつくるプログラム担当者、リバイバル集会担当者、とりなしの祈り担当者、勉強会担当者など

何日も続く講演会になるので、プログラムの内容は簡単にして、1回のプログラムが長くならないようにすることが大切です。

参加者に応じて時間帯を設定しましょう。予想される参加者にサラリーマンや学生が多い場合は夜、主婦や高齢者が多い場合は昼間のほうがいいでしょう。

オリジナルの原稿も使用可能です。(但し、10日間でバプテスマの決心をするように導くような内容にすることが求められる)

当日の役割は少ない人数でできるように工夫しましょう。

ポスターやチラシは教団で、各教会で必要事項を書き込めば完成するようなものを準備する予定です。2018年1月ごろに注文を取る予定です。

当日のプログラムの例

	受付
13:00	集会開始・歓迎・賛美歌礼拝
13:05	お祈り
13:10	伝道講演(スライドと原稿あり)
13:55	アピール・お祈り
14:00	解散

オプションで、伝道講演の前に、健康講話を毎日することもできます。10分程度のスライドと原稿を教団で準備します。

参考資料

全日本18マラナ・タに関する過去の『アドベンチスト・ライフ』誌の記事をよく読んで、話し合いをしましょう。

2016年12月号今月のtopic(14、15ページ)
2017年1月号特集(7~15ページ)
2017年4月号特集(7~12ページ)

全日本18マラナ・タのページが
できました。ぜひご利用ください。

